

歯周治療セミナー&ハンズオン 基本から実践へ

本セミナー・ハンズオンは、7名の講師により計6回コース（4回オンライン講義と2回実習、希望選択可）で、歯周治療の基本項目、臨床ポイント、実践と応用、トピックスについて解説していきます。歯科医師、歯科衛生士が単独でも参加可能ですが、一緒に参加するとより役立つように企画いたしました。ホストとゲストの2名講師、学術と臨床実践の両面、十分なQ&A時間、スライド資料の事前郵送が特徴です。歯周治療をはじめから見直したいかた、レベルアップしたいかた、新しい知識・技術を得たいかた等の、参加をお待ちしております。

第1回

2021年7月18日(日) 10:00~13:00

「歯周炎の新分類・検査・リスク診断」
吉江 弘正 先生

ウェビナー

歯科医師

歯科衛生士

「歯周病は1人では立ち向かえない!」
築山 鉄平 先生

会場 ウェビナー※1

第2回

2021年8月22日(日) 10:00~13:00

「歯ブラシ・殺菌剤・抗菌薬の選定と使い分け」
吉江 弘正 先生

ウェビナー

歯科医師

歯科衛生士

「歯周病新分類時代における
歯周基本治療の取り組み」
小林 明子 先生

会場 ウェビナー※1

第3回

2021年9月26日(日) 10:00~13:00

「ハンド・超音波・レーザーSRPと
全身疾患の対応」
吉江 弘正 先生

ウェビナー

歯科医師

歯科衛生士

「歯周基本治療の可能性」
金子 至 先生

会場 ウェビナー※1

第4回

2021年10月24日(日) 10:00~13:00

「再生治療の条件とエムドゲイン・リグロス」
吉江 弘正 先生

ウェビナー

歯科医師

歯科衛生士

「歯周病患者における
インプラント治療のポイント」
石川 知弘 先生

会場 ウェビナー※1

第5回

2021年11月28日(日) 12:00~16:00

「臨床で使えるSRPの技術を身につけよう!」
塩浦 有紀 先生
吉江 弘正 先生

実習

歯科衛生士

会場 連合会館 401会議室
東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

第6回

2021年12月5日(日) 13:00~16:00

「日常臨床で直ぐに役立つウォーターレーズ」
植松 厚夫 先生
吉江 弘正 先生

実習

歯科医師

会場 (株)デンタリード東京営業所
東京都千代田区神田小川町 1-11 千代田小川町クロス 12F

受講費

第1回~第4回

歯科医師

各回 3,000円(税込)

歯科衛生士

各回 2,000円(税込)

第5回・第6回

30,000円(税込)※2

受講環境

ウェビナーを受講するには、**パソコン** または **モバイル**、**Zoomアプリ(無料)** が必要です。予めご準備ください。

※視聴環境を満たしていても、端末、通信状況によっては正常に視聴できないことがあります。予めご了承願います。

申込方法



参加申込書に必要事項をご記入の上、Web または メール、FAX でお申込み下さい。

申込先Web▶ <https://www.dentalead.co.jp/seminar/other/234>

申込先メール▶ seminar@dentalead.co.jp

定員

第1回~第4回

各回 100名

第5回・第6回

各回 10名

※1 ご自宅またはインターネットを使用できる環境で受講願います。
※2 第5回は歯科衛生士限定、第6回は歯科医師限定のセミナーです。
※ 講師の先生方の詳細は裏面をご確認下さい。

参加申込書

申込先 FAX▶ 03-5217-0366

フリガナ			医院名	☐ 歯科医師 ☐ 歯科衛生士 (✓を入れて下さい)	
お名前					
ご住所	〒				
TEL			FAX		
E-mail					
参加希望日 (✓を入れて下さい) ☐ 第1回(7月18日) ☐ 第2回(8月22日) ☐ 第3回(9月26日) ☐ 第4回(10月24日) ☐ 第5回(11月28日) ☐ 第6回(12月5日)					

ホスト講師

第1回 歯周炎の新分類・検査・リスク診断

進行度によるグレード分類を基盤に、一人ひとりに適した治療・メインテナンスが重要です。歯周検査では、ポケット値・BOP・歯の動揺・エックス線所見を総合的に把握して、1歯ずつの診断を行うべきです。そして、細菌・宿主・環境因子の関与を明確したリスク診断による3症例を紹介します。

第2回 歯ブラシ・殺菌剤・抗菌薬の選定と使い分け

歯ブラシ・歯間ブラシを基本として、歯磨剤・洗口液を併用して指導すべきです。また、リスク度を基準とした到達目標を設定することが大切です。抗菌薬ポケット内投与は、BOP陽性でポケット5mm以上の部位におこない、抗菌薬経口投与は、菌血症予防が前提となる人や易感染性・歯周治療抵抗性患者について検討すべきです。

第3回 ハンド・超音波・レーザー SRPと全身疾患の対応

SRPの主目的はポケット内細菌の減少で、根面の過剰削除にならないことが重要です。ハンド・超音波・レーザーSRPの、基本事項と操作ポイントを説明します。また、糖尿病・心筋梗塞・関節リウマチ患者については、スタッフ全員での対応が必要で、具体的なポイントを解説します。

第4回 再生治療の条件とエムドゲイン・リグロス

再生の条件は、患者 / 部位選択・手術技術・術後の管理が大切です。術式では、欠損部位の形状把握・フラップデザイン・根面のクリーン・創面被覆がポイントとなります。エムドゲインとリグロスは、各種細胞を活性化させて付着ゲイン・骨ゲインが期待でき、特性を理解したうえでの適応症選択が重要です。



吉江 弘正 先生

1977年 新潟大学歯学部卒業、歯科医師
1981年 新潟大学大学院修了、歯学博士
1996年 日本歯周病学会 指導医(現在まで)
1999年 新潟大学歯学部教授(歯周病学)
2011年 日本歯周病学会理事長(-2013)
2018年 新潟大学定年退職、名誉教授

ゲスト講師

第1回 歯周病は1人では立ち向かえない！

歯周病の有病率データでは、重度歯周炎の割合は10～15%前後とほぼ世界的にみて一致しており、多くの歯周病患者は生涯を通じて安定的に重症化予防が可能で、重症化を抑えるための個別のリスクアセスメントを応用して、歯科衛生士と歯科医師がどのように疾病コントロールに対応しているかをお話します。



築山 鉄平 先生

2001年 九州大学歯学部 卒業
2006年 タフツ大学歯学部歯周科 post-graduate program 修了(-2009)
2010年 米国歯科修士取得(Master of Science)
2011年 医療法人雄之会 つきやま歯科医院 勤務

第2回 歯周病新分類時代における歯周基本治療の取り組み

最新の歯周病因論では生体の防御と細菌の攻撃の均衡が崩れてきた時に進行することがわかってきました。そのためリスクを考慮しながら継続的に歯周管理を行うことが重要となります。そこで歯科衛生士が行う歯周基本治療で変わってきたこと、変わらないことを再確認し、臨床現場の取り組みを見直してみたいと思います。



小林 明子 先生

1977年 東京歯科技工専門学校卒業 同校 講師
1997年 日本医学院歯科衛生士専門学校卒業
現在 小林歯科医院、新宿医療専門学校歯科衛生士科 非常勤講師

第3回 歯周基本治療の可能性

近年、来院患者の高齢化に伴い全身疾患を抱える患者が増えたため、侵襲の少ない歯周基本治療のスキルを高めることは、歯周治療を安全に行うために極めて重要になってきました。本セミナーでは、歯周基本治療の可能性を中心に、歯周治療に欠かすことのできない歯科衛生士の育成法についてもお話ししたいと思います。



金子 至 先生

日本歯周病学会指定研修施設 医療法人創志会 金子歯科医院 理事長・院長
スタディグループ「綾の会」代表
日本歯周病学会理事・認定歯周病専門医・指導医
日本臨床歯周病学会認定医・指導医・歯周インプラント指導医

第4回 歯周病患者におけるインプラント治療のポイント

歯周病患者におけるインプラント治療は、残存歯の負担を軽減し、また矯正治療における固定源の提供など大きなメリットがあります。しかし、インプラントサイトの骨、軟組織量の不足や、インプラント周囲炎のリスクなど、問題点も少なくないです。本講演では、歯周病患者においてインプラントを効果的に応用し、長期的に維持していくために必要なポイントを、症例を通して解説します。



石川 知弘 先生

1988年 広島大学歯学部卒業
1990年 浜松市内勤務
1996年 静岡県浜松市にて石川歯科開業
2008年 5-D Japan 北島一氏、船登彰芳氏、福西一浩氏、南昌宏と共に設立

第5回 臨床で使えるSRPの技術を身につけよう！

歯周基本治療の中でSRPは歯周組織が回復するための重要な手技の1つです。ワンランク上を目指したい！基本を見直したい！そんな歯科衛生士の日々の疑問をみんなで見つけ、皆さんが日常使用しているグレーススケーラーを中心に超音波スケーラーとの比較もしながら臨床でのヒントをみつけれられるようにサポートしたいと思います。



塩浦 有紀 先生

1989年 日本歯科大学付属歯科専門学校(現日本歯科大学東京短期大学)卒業 下村石膏株式会社研究室勤務
1991年 住友不動産株式会社歯科室勤務
1996年 若林歯科医院(東京都渋谷区)勤務
2000年 熊谷歯科医院(東京都中野区)勤務

第6回 日常臨床で直ぐに役立つウォーターレーズ

これまで歯科臨床現場において、多種類のレーザーが様々な波長でその特徴を活かして使用されてきていますが、軟・硬組織の両方へストレス無く使用できる機器は少なかった様に思われます。第6回のレーザー治療実習では、特殊な波長(2,780nm)を保有しているBIOLASE社のWaterLase iPlusを使用して、日常臨床で頻繁におこなわれる歯の切削から審美歯周治療やインプラント周囲炎まで幅広く使用できる機器であることを実習を通して実感して頂けたら幸いです。



植松 厚夫 先生

1985年 神奈川歯科大学卒業 歯周病学教室助手
1989年 ハーバード大学歯学部留学(クリニカルフェロー)
2008年 博士号取得(歯学博士 歯根膜の研究)
2008年 シンガポール歯科医師免許取得
2020年 ITI Fellow

申込状況等
お問い合わせ先



株式会社 デンタリード

本社 / 大阪市淀川区新高1-1-15
東京営業所 / 東京都千代田区神田小川町1-11 千代田小川町クロス12F

✉ seminar@dentalead.co.jp

TEL:06-6396-4448 FAX:0120-24-0892
TEL:03-5217-0353 FAX:03-5217-0366

